

平成20年度小野市（普通会計）

バランスシート（小野市の資産と負債の状況）

平成20年度末の市民1人あたり

資 産	158万8千円	(対前年度比 24万1千円増)
負 債	36万1千円	(対前年度比 8千円減)
純 資 産	122万7千円	(対前年度比 24万9千円増)

参考	兵庫県民1人あたり
資 産	129万円
負 債	88万円
純 資 産	41万円

バランスシートは民間企業の財務諸表の1つで、市が所有する資産や負債の状況を示すため作成し、その結果がとりまとめられました。

平成20年度末のバランスシートは、総務省方式改訂モデルで作成した結果、取得、建設した土地、建物などの資産合計は791億1,052万円となり、売却可能資産の新設と算定方法の変更などにより前年度から120億8,709万円増えました。一方、負債合計は179億9,390万円となり、地方債の減、退職手当引当金の減などにより、前年度から3億6,899万円減りました。資産から負債を差し引いた純資産は611億1,662万円となり、前年度から124億5,608万円増えました。

資産の内訳では、土地や建物、道路などの整備費を積み上げた有形固定資産が681億2,282万円、売却可能資産が13億8,452万円で、公共資産合計で全体の87.9%を占めています。

また、有形固定資産の中では、道路や公園などの生活インフラ・国土保全費が385億3,488万円、小・中学校の用地や校舎などの教育関係費が187億2,523万円で、合わせて84.1%とその大半を占めています。

負債は、地方債や退職手当引当金等を合わせた固定負債が160億6,283万円、21年度償還予定額が16億3,330万円となっています。

これを市民1人あたりのバランスシートでみると、市民1人あたりの資産は158万8千円、負債は36万1千円となり、純資産は122万7千円となりました。前年度と比較すると、資産は24万1千円の増、負債は8千円の減となり、純資産は24万9千円の増となりました。

平成21年8月26日